

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	月一度のフロア会議時や不定期開催でのケアカンファレンスの時間を設けているが、圧倒的に話し合う時間が足りない。ケアプランの評価項目のリハビリやBPSD(認知症の行動・心理症状)に関する話し合いの場を定期的に設けていく必要がある	定期的にカンファレンスの時間を設け、カンファレンス内容等記入するカレンダーを設置。カンファレンス内容等が周知できるようにしていく。毎日カンファレンス時間を設けられるよう業務改善を図り、定期開催ができる状態を目標とする。	・カンファレンスの定期開催 ・カンファレンス内容が分かるようケアプラン・リハビリ内容・BPSD(認知症の行動・心理症状)対応検討日を設けていく	12ヶ月
2	48	新型コロナウイルスの影響で、事業所と地域のつながりが持てていなかったが、ここ最近ボランティアの活用等を始めた。入居者の皆様も喜ばれる姿あり。	外出企画やボランティアのさらなる活用、生活の中に楽しみが持てる日常が送れるよう支援できる。	・毎月ボランティアの活用ができる。 ・定期的に外出の企画ができる。 ・地域とのかかわりの検討が図れる	12 ヶ月
3	52	共有スペースの展示物が更新されていなかったり、話のきっかけになるようなものが現在はなく殺風景な様子	共有スペースの展示物が定期的に更新でき、回覧しながら会話が盛り上げられるような空間作りができる	・掲示物の更新 ・入居者様作品作りを楽しみ、掲示できる ・定期的に食堂のレイアウトの検討ができる	12ヶ月
4	13	スタッフ教育は毎月職場会議の場としているが、実際ほとんど時間を割り当てられていなく、各自自己学習に留まっていることが多い	定期的に学習会の開催、介護感等の意見交換の場を設けられ、各自ケアに対するスキルアップが図れる	・定期的な学習会の開催 ・介護感等日頃の想いを話せる意見交換の場の創出 ・スタッフ教育に加え、面接を実施し、個々に指導ができる	6ヶ月
5	11	運営方針等、事業所理念などを共有する時間を設けていなく、スタッフ丸となって事業所運営が出来ていない。	事業所の運営状況がスタッフの皆が把握でき、選ばれるサービスの必要性等理解ができ実践できる。 安定した経営状況を目標にスタッフ丸となって行動ができる	・運営状況の共有が図れる ・安定した経営基盤が築ける ・選ばれる、質の高いサービスの実践に向け検討実施ができる	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。